

令和6年度 屏風ヶ浦地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

屏風ヶ浦地区は区内でも高齢化率が比較的高い地区であり、高齢者世帯、高齢者単身世帯も多い地域である。地形の関係で丘陵地の地域と平地の地域があり、狭い道が多く戸建が中心であるが交通の便が悪い。駅前の地区（主に森1丁目）はマンション等集合住宅が中心となっており人口密度が区内1位であるが高齢化率も高い地域である。ご高齢の方がケアプラザまで足を運ぶ事が難しくなっており、屏風ヶ浦地区全体で「移動」について課題がある地域とも言える。

汐見台地区は社宅等がなくなった後に新しいマンションが次々建設され、地区の人口推移として年少人口、生産人口は増加している。しかし高齢者数が減る事はなく、高齢者世帯（単身）も多い為、総合相談件数も増加している。汐見台からケアプラザまでは下りの坂道となっており、ケアプラザまで足を運ぶのが難しい個別相談に対しては訪問対応を行っている。また、エレベーターの無い団地においては上層階に住む方々の高齢化に伴い、汐見台においても「移動」については課題と捉えることができる。

両地区とも昔から住む世代と転入されてきた若い世代との関わりについては課題を感じている様子があり、また地域活動や自治会町内会活動に若い世代の参加が少ないことから担い手不足となっており、現在担当されている方々が他の役を兼任されているのが現状である。担い手の発掘は両地区において重要なキーワードとなっており、今後様々な活動の継続には欠かせない問題ともいえる。

第4期地域福祉保健計画においては令和7年までの計画であり、今後の取組としては第5期計画を見据えての取組となってくる。今年度は第5期計画策定に取り掛かる年でもあり、ケアプラザとしては事務局的機能で後方支援を行っていきます。また地域の福祉保健活動やその他の活動、行事等へ参加する事で関係を深め、より地域に根付いた関係が構築されるよう出来る限り地域へ出向いていきます。ケアプラザ周知についてケアプラザニュース等を活用した広報活動を継続し、多世代の方が利用、相談できる場所であることを発信し続けていきます。地域で行われている活動へ参加させていただく事で、より多くの方にケアプラザの周知できるように働きかけていきます。小中学校で実施している認知症サポーター養成講座を通じてケアプラザを紹介することで若年層への直接的アプローチを行い、また学生の親御様を含めた更なる周知となるよう、今後も地域へ出向いた活動を継続していきます。

☐ 今年度の重点的な取組

新規継続

—具体的な取組内容—

☐	☒	Ayamuの更新に伴い、活動情報の確認、公開の可否等について再度アセスメントを行う。 また必要に応じて各事業へ参加し、地域情報収集に繋げていく。
☒	☐	地域と協力しYワイひろば等を活用し、新規事業や包括と連携しての介護予防事業や相談会を開催し、ケアプラザまで来られない方が社会参加できる環境を整備していく。 また、参加して頂く事でケアプラザを身近に感じて頂けるよう周知活動も同時に行う。
☐	☒	高齢化が進んでいる貸室登録団体が貸室を利用しての活動を継続するために必要な「福祉保健活動」の場の提供や活動支援情報を継続的に伝えていく。 また、他施設との交流を図り地域貢献活動につなげる。
☐	☒	出前講座の実現に向けて実施可能な場の発掘、団体等各関係者との関係構築を図り、実施実現に繋がるよう関係づくりを行う。
☐	☐	

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

○高齢化やサークル活動内容でのボランティアがなかなか難しい貸室登録団体等に、赤い羽根街頭募金活動を広く周知することで地域貢献となるボランティア活動の場に繋がった。また、他施設のアクティビティや障害のあるお子さんと保護者の方達の活動の手伝いやイベント補助などのボランティア活動の場を提供出来たことにより、来年度も貸室利用が可能となっている。

○Yワイひろばの活用をスマホ講習会・相談会等の利用で空き家の活用や出張講座等へ繋げる土台を今年度はできた。今後は自治会単位での出張講座を実施へむけて取り組んでいく。又、スマホだけではなく、体操やフレイル予防にむけた事業の展開を模索していく。

○今年度地域に出向き、小さな単位での通いの場を作っていくことを目指し、生活支援・包括と協働しもりもり広場での主に男性を対象としたラジオ体操講座を試行した。参加者希望でケアプラザでも開催するなど柔軟に対応しながら進めていくことができ、来年度も回数・会場を増やしての展開としていく。また今年度中原地区、屏風ヶ浦の会館・サロン等において隣接地区の包括・生活支援と協働し、講座共催や情報共有をすることができた。

☐ 区からのコメント

貸室団体へのボランティア活動の提供など、地域活動の裾野を広げていただきありがとうございます。貸室利用者を地域貢献活動につなげていくことは、地域ケアプラザならではの担い手づくりの成果と思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

屏風ヶ浦地区・汐見台地区ともに、高齢単身世帯・高齢者のみの世帯の増加や山坂が多い地形の課題がある中で、ケアプラザに来所が難しい住民に対して積極的にアウトリーチを行う等、きめ細やかに対応していただいています。そのような日々の取組があるからこそ、地域の特徴を捉え、ニーズをキャッチしながら、住民の社会参加を意識した柔軟な活動が展開されていると思います。引き続き、多様なニーズをキャッチしながら、ケアプラザの周知活動を中心に、様々な事業が展開されることを期待しています。